

第1学年 道徳科学習指導案

1. 主題 しんせつにすると (B-(6)親切、思いやり)

2. 教材 「はしのうえのおおかみ」

3. 主題設定の理由

本学級の児童は、元気で明るい子が多い。クラスで決めたがんばることを、毎日10個達成できるように声を掛け合いながら日々協力して過ごしている。その一方で、自分のことだけを考え、面倒なことは人任せにしたり、相手のことより自分の気持ちを優先したりしてしまう場面も多くある。そこで今回の授業を通して、相手を思いやり、やさしく接しようとする心情を育てていきたい。

友達と心地よく過ごすためには、互いに相手を思いやり、やさしい気持ちで接することが大切である。自分の気持ちよりも相手の気持ちを考えて行動したときに得られる喜びや満足感は、集団生活をよりよいものにしていくであろう。

本教材は、おおかみが、自分より小さな動物にいじわるをしていい気分になっていたが、自分より大きくなると出会い、やさしくしてもらうことで改心し、親切にすることのよさに気づく話である。生活科「あきみつけ」で、友達と協力して作業をしている子どもたちに本教材と出わせていく。おおかみの気持ちを考えていくことで、相手を思いやる気持ちの大切さに気づかせたい。

4. 本時の学習活動

時間	学習活動と子どもの思い	学びを支える手だて
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> いじわるをしていたおおかみが、親切にされて改心する姿を通して、相手を思いやり、やさしく接しようとする心情を育てる。 		
0	<p>だれかにいじわるしちゃったことあるかな</p> <p>1. これまでにいじわるしてしまった経験について話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 妹に、おもちゃを貸してあげなかったことがあるよ。 友達に嫌な言葉を使っちゃったな。 	<p>手だて①-(ア)</p> <p>本時の学習へと方向づけるために、自分がこれまで<i>いじわる</i>してしまった経験について発表させる。</p>
3	<p>2. 教師の範読を聞き、おおかみの気持ちを考える。</p> <p>最初に「えへん、へん。」のあとに、おおかみは何と言ったでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> いじわるって楽しいな。 俺は強いんだぞ。 	<p>手だて③-(イ)</p> <p>いじわるをしたおおかみの気持ちを考えさせるために、ペーパーサートを持ち、おおかみになりきって発言させる。</p>
8	<p>最後の「えへん、へん。」のあとに、おおかみは何と言ったでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> やさしくすると、気持ちがいいんだ。 うさぎさんよろこんでくれたかな。 	<p>手だて③-(イ)</p> <p>おおかみの気持ちの変化に気づけるようにするために、最初の「えへん、へん。」の気持ちと最後の「えへん、へん。」の気持ちを比較できるように板書する。</p>
13	<p>最初と最後の「えへん、へん。」と言ったときのおおかみの気持ちの違いは何だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初は自分のことしか考えてなかったけど、最後は、うさぎさんのことを考えていたと思う。 やさしくするっていいなってわかったと思うよ。 おおかみは、やさしくすると相手も喜ぶし、自分も嬉しくなるって気づいたんだと思う。 	<p>手だて③-(イ)</p> <p>くまのやさしさに触れたことで、おおかみの気持ちに変化したことに気づけるようにするために、「何でやさしくなれたの。」と切り返す。</p>
30	<p>3. おおかみに手紙を書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> おおかみさん、やさしくすると、自分も相手もいい気持ちになれるってわかったね。 くまさんみたいにやさしくなれてよかったね。私も友達のことを考えて、秘密基地を作るね。 おおかみさん、私も友達にやさしくするね。 	<p>手だて⑤-(イ)</p> <p>今後の生活に生かすために、これから自分が頑張りたいことをおおかみに伝えるように書くよう指示する。</p>
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> おおかみの気持ちの変化を考える中で、相手を思いやり、やさしくすることの大切さに気づき、これからの生活に生かしていこうと考えることができたか。(発言、ワークシートより) 		

